

広報 しばた

12
2011
DECEMBER
No. 602
since 1961

小学1年生全員に 「絵本」をプレゼント

町内6つの小学校に通う1年生304人全員に、町から絵本が贈られました。この絵本プレゼント事業は、子どもたちに読書の習慣を身につけてもらうことを目的に柴田町図書館が行なったもので、図書館おすすめの絵本12作品の中から1冊を選んでもらいプレゼントしたものです。図書館では、来年度以降も小学校に入学した子どもたちに絵本をプレゼントしていく予定です。

節電アクション

できることから取り組もう！

冬の節電対策

今年の夏は、多くの方々がエアコンの使用を控えるなど、節電することで計画停電を避けることができました。

これから寒さが本格化する時期、再び電力不足が予測されています。政府、電力会社では、電力不足にならないように努力をしていますが、それでも停電の恐れがあります。政府は、11月に「冬期の節電メニュー」を提示して、冬（12月～3月）※の平日（午前9時～午後9時）、皆さんへ無理のない範囲での節電に協力を求めています。

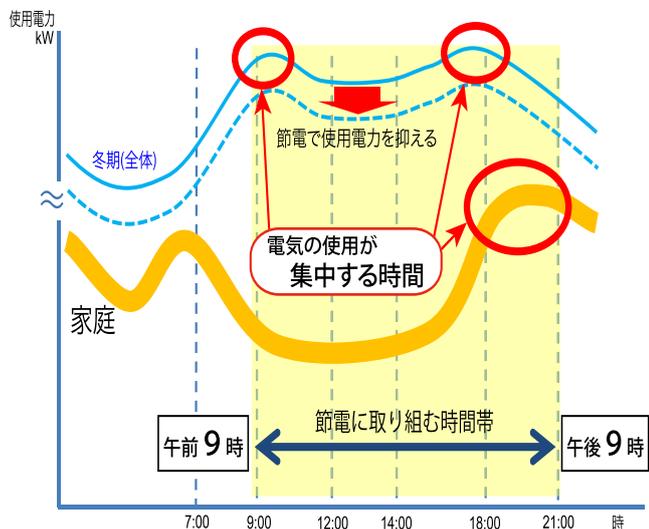
そこで、今月号では「上手に電気を使用する」取り組みをご紹介します。

※ 年末年始（12月29日（木）～1月4日（水））を除く。

冬の電気の使い方の特徴は？

夏の特徴は、昼間の時間帯（特に午後2時から午後3時）に電気の使用が集中していました。冬の特徴として、全体では朝と夕方の2つの時間帯で電気の使用が集中します。家庭では、夕方6時以降に電気の使用が集中します。

冬はどのくらい電気が使われるのか？

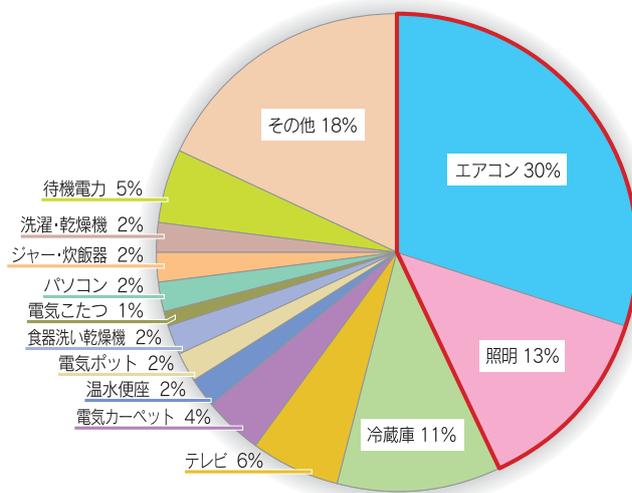


【資源エネルギー庁 推計】

家庭のなかでたくさん電気を使っている電化製品は？

通常エアコンを使用される家庭で、冬の夕方（午後7時頃）に使用される電化製品のなかでたくさん電気を使っているのは、エアコンと照明で、全体の43%になります。

冬の家庭で多く電気が使われる電化製品

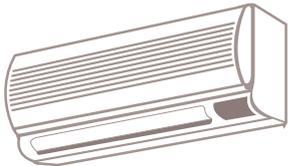
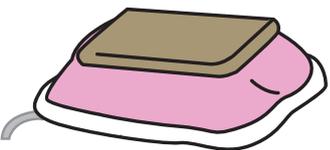
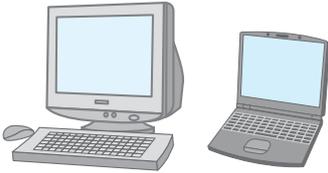
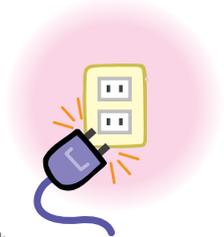


【資源エネルギー庁 推計】

家庭でできる 上手に電気を 使用する

節電メニュー

それぞれの家庭で、下の表を参考に電気製品の使い方を工夫することで、電力の供給不足にならないように、無理のない範囲での節電に心掛けましょう。

<h3>エアコン</h3>  <p>重ね着などをして 室温 20℃ を心掛ける</p>	<h3>照明</h3>  <p>使う部屋を限定 するなど、不要 な照明はなるべく 消す</p>	<h3>テレビ</h3>  <p>画面の明るさを下げて 不要なときは電源OFF</p>
<h3>冷蔵庫</h3>  <p>設定を「弱」に変えて 食品を詰め込まない</p>	<h3>炊飯器</h3>  <p>早朝にタイマー機能で 1日分をまとめて炊く</p>	<h3>電気カーペット</h3>  <p>人の居る部分だけを温め 設定を「中・弱」に心掛ける</p>
<h3>電気こたつ</h3>  <p>上掛けなどを活用して 暖気を逃がさない</p>	<h3>パソコン</h3>  <p>省電力設定を活用する</p>	<h3>待機電力</h3>  <p>使わない機器は プラグを抜く</p>

ワンポイント



- 家族そろった広い部屋で、みんなが暖まる場合には、電気ストーブよりエアコンが効率的です。
- 広い部屋で一人足元を温める場合には、エアコンより電気ストーブが効率的です。

- 節電に関するお問い合わせ・情報の紹介（経済産業省）
節電ダイヤル ☎ 0570-064-443（午前9時～午後5時）
政府節電ポータルサイト「節電.go.jp」 <http://www.setsuden.go.jp/>
- 省エネ・節電に関する詳しい情報の紹介（財団法人省エネルギーセンター）
家庭の省エネ大辞典 <http://www.eccj.or.jp/dict/index.html>
省エネ生活ナビ <http://www.shouene-katei.jp/index.html>



自治功労者・町政功労者

20人・2団体・7事業所を表彰

町政の振興・発展に貢献された方を表彰する「平成23年度自治功労者・町政功労者表彰式」が、11月15日に榎木生涯学習センターを会場に行われました。会場では、町長から個人や団体、事業所に感謝状が贈られました。

表彰を受けた方は次のとおりです。（敬称略・順不同）

叙勲受章者(披露)

【瑞宝双光章】 防衛功労

若林 雄策 (船岡東4丁目)

佐藤 孝司 (船岡東4丁目)

【瑞宝単光章】 防衛功労

織田 進 (船岡東4丁目)

室笠 和美 (榎木西1丁目)

船山 直人 (船岡字久根添)

【瑞宝双光章】 消防功労

平岡 孝一 (榎木西3丁目)

【瑞宝単光章】 消防功労

浅野 庄一 (船岡中央2丁目)

【瑞宝双光章】 教育功労

三宅 光信 (船岡南1丁目)

自治功労者

【花のまちづくり資金として多額の金員を寄附】

高 治宏

(台湾台北縣新店市)

【多年にわたり交通指導隊員として交通事故防止に尽力】

後藤 和史 (榎木上町1丁目)

【多年にわたり消防団員として消防防災に尽力】

平岡 利春 (海老穴字一本松)

宮城 俊昭 (本船追字下町)

舟山 泰治 (船岡中央3丁目)

町政功労者

【多年にわたり柴田町有害鳥獣保護隊員として鳥獣による被害防止に貢献】

志賀野誠一 (榎木字遠島)

高橋 信夫 (成田字三河内)

高橋喜久郎 (入間田字真中)

【町特産品の商品開発として産業振興に貢献】

柴田特産品加工組合

(下名生字町屋敷)

【若手後継者の育成など地

域商業の振興に尽力】

平井 正憲 (船岡中央3丁目)

【地域活性化の先導役を担い地域商業の振興に尽力】

伊藤 仁治 (榎木下町2丁目)

【町内の小中学校への図書購入費として多額の金員を寄附】

株式会社つばめエイジェ

ンシー (船岡字新田)

【図書館の図書購入費として多額の金員を寄附】

菅野 則明

(船岡土手内1丁目)

【図書館の図書購入費として多額の金員を寄附】

図書館とともに歩む会

【町内小中学校をクラシック鑑賞会に招待し芸術文化の振興に貢献】

北日本電線株式会社

(仙台市太白区)

【敬老祝品として物品を寄附】

株式会社メガネの相沢

(仙台市青葉区)

【福祉資金として多額の金員を寄附】

株式会社ユアテック白石

営業所 (白石市)

関 正忠 (船岡字新生町)

加茂 將立 (榎木下町2丁目)

【多年にわたり町委託医として保健衛生思想の向上と健康保持増進に貢献】

佐藤 和宏 (仙台市青葉区)

八木沼康之 (仙台市青葉区)

【多年にわたり町保健協力員および健康推進員として地域住民の健康づくりに貢献】

志子田紀恵子 (榎木西2丁目)

高橋 英子 (榎木西2丁目)

【町内に防犯灯を設置し、治安の維持に貢献】

北日本電線株式会社

(仙台市太白区)

【多年にわたり柴田町有害鳥獣保護隊員として鳥獣による被害防止に貢献】

東北電力株式会社白石営業所 (白石市)

株式会社ユアテック白石

営業所 (白石市)



支援物資提供

【企業・団体】

山崎製パン株式会社仙台工場	株式会社相和技術研究所東北支社
豊屋食品工業株式会社	株式会社アクティオ岩沼営業所
株式会社オオエダ商会	伊藤チェーン株式会社本部
株式会社緑のふるさと公社	新潟県燕市遠藤忠夫・井戸巻自治会
ザ・ビッグ柴田店	宮城県仙南総合プール
マルトモ株式会社	彩正堂
マーブルマーブル有株式会社	アイリスオーヤマ株式会社
仙台コココーラボトリング株式会社仙南営業所	株式会社リコー
イオンリテール株式会社イオン船岡店	東北リコー株式会社
昭和電線ケーブルシステム株式会社	エクソンモービル有株式会社
焼き肉レストラン都	はらから福祉会くりえいと柴田
国際ボランティアセンター山形	産物直売所利用組合
西松屋チェーン株式会社イオンタウン柴田店	株式会社山越
株式会社白石ハウビング	柏木工株式会社
北日本電線株式会社仙台工場	社団法人宮城県歯科医師会
民主党宮城県本部	株式会社昭文社
JA山形中央会	農政局
仙台森紙業株式会社	自衛隊
旧錦旅館	宮城県
マスプロ電工株式会社仙台支店	宮城県農産園芸環境課
	宮城県大河原地方振興事務所
	静岡県御殿場市
	兵庫県高島市

【個人】

伊藤 勝夫、中野 智明
大塚 俊宏、今野 良典
大槻 隆利、加藤 和博

支援物資・寄附金 ありがとうございました

東日本大震災の発生からこれまで、多くの方々から援助物資・寄附金が寄せられました。改めまして、深く感謝申し上げます。
ご支援・ご協力いただきました企業・団体名、個人のお名前を掲載させていただきます。（11月15日現在、順不同、敬称略）

震災寄附金

【企業・団体】

三上 正志、佐藤 慎一	宮城県国民健康保険団体連合会
阿部 房雄、星 正一	株式会社ぎょうせい
加太小夜子、岡崎 静夫	柴田町グラウンドゴルフ協会
小室 稜嗣、スズキシズエ	東禅寺寺子屋企画
	社団法人柴田町シルバー人材センター会員・職員一同
	退職公務員連盟船岡地区会
	ダンススポーツ榎木ステップ
	柴田郡佛教会
	徳島県石井町・石井町議会
	シダックス
	もみの木ゴルフ愛好会
	柴田町民ゴルフ大会実行委員会
	和紙人形愛好会
	退職公務員連盟柴田郡支部
	榎木地区会
	大光院不動講
	【個人】
	菊地 定男、福島 和世
	秋野 玲子、菅野 博
	菅野 武、工藤千代子
	高橋 光子、佐藤かよ子
	笠井 裕一、阿部 房雄
	村上 良白、小室 稜嗣
	寺下 祐子、家島 敏子
	関根 洋子ほか11人
	全国町村議会議長会
	柴田町上下水道組合
	株式会社
	昭和電線ホールディングス
	全日本民主医療機関連合会
	株式会社伊藤チェーン
	退職教員互助会柴田地区会
	北海道洞爺湖町
	委員会
	北海道伊達市
	北海道伊達市議会議員会
	北海道伊達市農業委員会
	北海道伊達市姉妹都市支援委員会
	北海道伊達市
	柴田町パークゴルフ愛好会
	連合会
	日本医療福祉生活協同組合
	FCフレスカ
	東海高熱工業株式会社
	有限会社渡辺総合保険事務所
	アイティ都市開発株式会社
	町内会10区第1班

皆さんのところへ伺います！

まちづくり出前講座

町の職員などが、受講を希望する団体の皆さんが準備した会場に伺い、講座を開く「まちづくり出前講座」。
今年度は、これまで41の団体から申し込みがあり31回の講座を終了し、述べ1,315人の参加をいただきました。
この出前講座は、皆さんが知りたいこと、聞きたいことを気軽に学んでいただける機会として、また、情報共有を推進することを目的としています。

今回は、町が実施しているさまざまな出前講座を紹介します。
ぜひ、ご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ先：柴田町役場まちづくり政策課 まちづくり推進班 電話54-2111

どんなメニューがあるの

健康や福祉、ごみの分別など、皆さんに身近なメニューを用意しています。詳しくは、次ページのメニュー表をご覧ください。

ご利用にあたって

●利用できる方は

町内に在住、または通勤・通学しているおおよね10人以上で構成された団体・グループです。

●開催場所は

町内どこへでもお伺いします。

ただし、会場は利用する団体・グループで準備してください。

●開催時間は

祝日、年末年始を除く、平日および土・日曜日の午前9時から午後9時までの間で、1講座につき原則2時間以内でお願いいたします。

●受講料は

無料です。ただし、講座の内容により材料費などについて実費を負担していただくことがあります。また、会場利用料は利用者で負担してください。

●申込方法は

受講希望日の2週間前までに申込書に必要事項を記入し、まちづくり政策課へ提出してください。申請書はまちづくり政策課、槻木事務所、各生涯学習センターに設置しているほか、ホームページからダウンロードできます。

●利用者へのお願い

この講座は、皆さんの学習の場です。苦情や要望、陳情はご遠慮ください。また、政治や宗教、営利を目的とした催しの場合には、実施できません。



受講申込から

講座実施までの流れ

受講申込(受講希望者)

メニュー表から希望する講座と日時を決定し、まちづくり政策課へ受講申込書を提出します。

申込書受付

(まちづくり政策課)

受講申込書を受け付け、各担当課へ出前講座を要請します。

講座の開催決定

(まちづくり政策課から通知)

開催日時などについて各担当課などと調整の上、受託の可否を決定し、通知書により代表者へ連絡します。

講座実施(各担当課)

指定された場所に向向き、講師を務めます。ただし、進行などは受講者が行ってください。

柴田町まちづくり出前講座メニュー表

No	分類	講座名	講座内容	No	分類	講座名	講座内容
1	安全・安心	災害に強い地域づくり	いざという時に備えて、地域ぐるみの防災活動について説明します。	26	農林業	森林（もり）のはなし	私たちの生活に潤いをもたらす、森林の恵みと大切さを学ぶ講座です。
2	安全・安心	交通安全教室 交通事故にあわないために	交通安全条例制定の下、正しい道路の横断方法や自転車の乗り方など、交通安全のルールや交通マナーをわかりやすく説明します。	27	農林業	農業者年金制度について	農業者年金制度の概要について、また農地法との関係について説明します。
3	安全・安心	みんなでつこう！ 安全・安心なまちづくり	安全・安心なまちづくりについて、柴田町の現状と課題について説明します。また、地域での防犯活動の取り組みについて意見交換をします。	28	農林業	農地制度について	農地の売り買い・貸し借り、また駐車場などに転用するには農地法の手続きが必要です。農地制度について解説します。
4	税	暮らしと税金	課税の仕組みなどについて説明します。(1月から4月は繁忙期のため休止します)	29	建設	道路のおはなし	道路の種類や、町道はどのくらいあるのか、道路整備の現状や基本的な計画についてお話しします。
5	選挙	やさしい選挙の話	選挙制度の成り立ちと各種選挙の仕組みや制度について説明します。	30	建設	しばたの都市計画	柴田町の都市計画について概要をお話しします。
6	環境	ごみ分別とごみ減量・資源化について	柴田町のごみ行政の実態や正しい分別の仕方、ごみをどうしたら減量できるか、資源化する方法などについてお話しします。	31	上下水道	水道のしくみ	柴田町水道の流れ、水道水が出来るまでなどを説明します。また、家庭での水道設備のトラブルなどについて説明します。
7	環境	ごみ処理施設見学会	家庭から出たごみがどのように処理され、資源化されるのか、処理施設を見学します。	32	上下水道	水道施設の概要について	柴田町の水源と施設などの概要を説明します。
8	消費生活	消費者トラブルにあわないために	消費者契約トラブルの事例、解決方法、契約の基礎知識など消費生活の安全・安心に関わる情報を提供します。	33	上下水道	水道水の水質検査等について	水質検査実施について説明します。
9	年金	知っておきたい年金制度	国民年金の種類や資格、制度の仕組みについて説明します。	34	上下水道	下水道のしくみ	下水道の仕組みや役割についてお話しします。
10	保険・医療	私たちの国民健康保険・後期高齢者医療制度	国民健康保険・後期高齢者医療制度の仕組み、給付の内容、保険料（税）について説明します。	35	教育全般	柴田町教育について	教育について、分かりやすくお話しします。
11	健康	歯の健康教室	乳幼児から高齢者まで、むし歯や歯周病予防についてのお話や歯みがきの実習をします。	36	教育	柴田町の教育方針及び重点事業について	毎年、柴田町では、時代のニーズに対応するため、学校教育・社会教育に関する年度教育方針および重点事業を定めています。どのような方針でどのような事業に取り組んでいるのか説明します。
12	健康	乳幼児の心身の発達	乳幼児の心と身体の発達についてお話しします。	37	教育	学校教育の現状と課題について	柴田町の第一幼稚園・小中学校において、どのような点に力を入れて児童・生徒の教育にあたっているか。また、その課題について説明します。
13	健康	高齢者の心の健康のお話	健康講話「うつと閉じこもり予防」についてと簡単に楽しい運動を行います。(地区担当保健師がお伺いしたいと思いますので1か月前までの申し込みをお願いします)	38	教育	児童・生徒の安全対策について	幼稚園・小中学校の児童・生徒の人命に関わる安全対策の強化が求められている今、幼稚園や小中学校のハード面・ソフト面での安全対策の現状と地域・行政が取り組む安全対策や課題等について説明します。
14	健康	高齢者の体の健康のお話	健康講話「わかりやすい血圧のお話」についてと簡単に楽しい運動を行います。(地区担当保健師がお伺いしたいと思いますので1か月前までの申し込みをお願いします)	39	教育	楽しくなる子ども会	地域の子ども会をもっと楽しくしてみませんか？子ども会を活性化する取り組みについてお話しします。
15	健康	成人の健康のお話	①『血糖・ヘモグロビンA1cを知ろう』または②『メタボリックシンドロームを知ろう』の話と簡単な運動を行います。生活習慣を見直すきっかけづくりの講座です。	40	教育	柴田町子ども読書活動推進計画について	「柴田町子ども読書活動推進計画」についての概要と計画の進捗状況をお話しします。
16	健康	食事を楽しもう	子どもから高齢者の栄養について、栄養士と一緒に振り返り、食事を楽しみましょう。(栄養士がお伺いしたいと思いますので1か月前までの申し込みをお願いします)	41	教育	図書館ってどんなところ？	図書館の利用の仕方や活用方法など、詳しくお話しします。
17	高齢者福祉	高齢者福祉サービスのはなし	町が行っている高齢者福祉サービス概要についてお話しします。	42	スポーツ	ニューススポーツ体験	さまざまなニューススポーツを紹介します。実際に体験してニューススポーツの楽しさを知り、日頃の運動不足を解消しましょう。
18	介護	介護保険制度のしくみ	介護サービスの利用方法、介護認定方法、保険料について説明します。	43	文化	サークルをつくらう	仲間同士のサークルを作ってみませんか？サークルの立ち上げをはじめ、町の施設や設備の上手な使い方などについてお話しします。
19	介護	はじめましょう 介護予防教室	「元気な生き生き」という願いを実現するため、いまの自分の状態を知り、介護予防の取り組み方を学ぶものです。	44	歴史・文化財	柴田町の歴史と文化財に親しもう	柴田町は、縄文時代初めから、人の生活の後が見られます。また、100カ所余りの埋蔵文化財もあります。町の生い立ちや、文化財に実際に見学してみませんか。
20	介護	認知症サポーター養成講座	認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かく見守る応援者「認知症サポーター」を養成する講座です。	45	町政全般	町政について	町政全般にわたり、分かりやすくお話しします。
21	介護	高齢者の現状と課題を知る	高齢化の定義とその現状および高齢者のさまざまな課題に対する地域包括支援センターの役割について知る講座です。	46	行財政	町の財政について	柴田町の財政は、大変厳しい状況です。現在の財政状況や健全化に向けた取り組みなどを説明します。
22	子育て	子育て支援について	児童福祉法に基づき、町が実施している子育てに関連する児童福祉サービス（支援センター事業、保育事業、健全育成事業、各種児童に係る手当など）について説明します。	47	計画・統計	柴田町総合計画について	新たな町政運営の指針となる「第5次柴田町総合計画」(平成23年度～平成26年度までの4年間)について説明します。
23	観光	柴田の観光とまつり	町の観光名所とさくらまつりについて紹介します。	48	計画・統計	統計で知る柴田町の姿	柴田町の、「過去、現在、未来」をさまざまな統計指標から解説します。また、統計の手法や生活への役立て方について説明します。
24	農林業	農業者戸別所得補償制度	平成23年度から本格実施された農業者戸別所得補償制度の内容について説明します。	49	まちづくり	住民自治によるまちづくり基本条例って何？	住民が主体となった参加と協働によるまちづくりを進め「生き生きとした住みよいまちの実現」に向けて制定された「住民自治によるまちづくり基本条例」の内容について説明します。
25	農林業	農業振興地域整備計画について	町の農地保全に関する計画を説明します。	50	男女共同	男女共同参画って何？	身近なところから男女共同参画とは何かを一緒に考えてみませんか。
				51	議会	議会のしくみ	議会のしくみや運営などについて説明します。

平成24年度に向け、さらにご活用していただけるよう、メニューの見直しを図っていきます。

① 人件費の状況（平成 22 年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 H23.3.31 現在	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 21年度の人件費率
人 38,264	万円 117億1,583	万円 1億2,141	万円 24億2,064	% 20.7	% 21.6

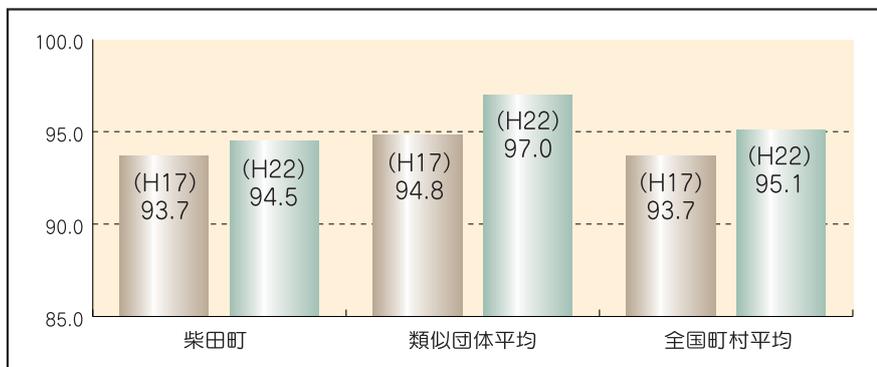
(注) 人件費とは、一般職、特別職に支給される給与、共済負担金、退職手当負担金、災害補償費などをいいます。

② 職員給与費の状況（平成 22 年度普通会計決算）

職員数 A	給与費				1人当たり給与費 B/A
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
人 261	万円 10億3,431	万円 1億2,628	万円 3億7,345	万円 15億3,404	万円 588

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は、平成 22 年 4 月 1 日現在の人数です。

③ ラスパイレス指数の状況（各年 4 月 1 日現在）



(注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を 100 とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

④ 職員の平均年齢、平均給料月額状況（平成 23 年 4 月 1 日現在）

区分	一般行政職		技能労務職	
	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額
柴田町	46.1 歳	335,846 円	50.9 歳	294,579 円
宮城県	42.8 歳	343,936 円	49.5 歳	332,110 円
国	42.3 歳	327,205 円	49.5 歳	283,862 円

⑤ 職員の初任給の状況（平成 23 年 4 月 1 日現在）

区分	一般行政職		技能労務職	
	大卒程度	高卒程度	高卒程度	中卒程度
柴田町	172,200 円	140,100 円	137,200 円	121,600 円
宮城県	178,800 円	144,500 円	141,900 円	125,400 円
国	172,200 円	140,100 円		

(注) 宮城県は、給料の削減措置を実施しています。

⑥ 期末・勤勉手当の状況（平成 22 年度支給割合）

区分	支給割合
柴田町	期末手当 2.60 月分
	勤勉手当 1.35 月分

(注) 職制上の段階、職務の級などによる加算措置があります。

公表

職員の給与と定員管理について

します

「柴田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、町職員の給与および職員数などについてお知らせします。職員の給与については、国の人事院勧告や県人事委員会勧告を参考に、町議会の審議を経て、条例などにより定めることになっていきます。また、職員定員管理についても、第5次定員適正化計画に基づき、職員数の削減に向け取り組んでいます。



■ 問い合わせ
 柴田町役場総務課秘書職員班 電話5512111
 E-mail: general-affairs@town.shibata.miyagi.jp
 ※町職員の給与や勤務条件・職員数などの詳しい内容および人事行政の運営等の状況については、ホームページでご覧になれます。

⑦ 退職手当の状況 (平成23年4月1日現在)

区分		勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額	1人当たり平均支給額
柴田町	自己都合	23.5月分	33.5月分	47.5月分	59.28月分	2,450万円
	勧奨・定年	30.55月分	41.34月分	59.28月分	59.28月分	

(注) 1 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成22年度に退職した職員に支給された平均額です。

⑧ 特別職の報酬などの状況 (平成23年4月1日現在)

区分	給料		報酬		
	町長	副町長	議長	副議長	議員
報酬などの月額	909,000円	704,000円	388,000円	330,000円	316,000円
期末手当	2.95月分 (平成22年度支給割合)				

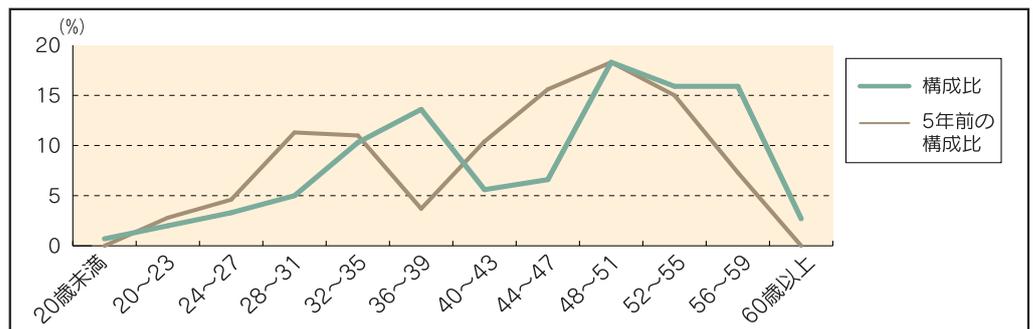
⑨ 部門別職員数の増減状況 (各年4月1日現在)

区分	部門	一般行政職									
		議会	総務	税務	労働	農林水産	商工	土木	民生	衛生	小計
職員数	平成23年度	4	65	17		11	5	21	80	21	224
	平成22年度	4	55	17		11	5	21	81	22	216
	対前年度増減数		10						△1	△1	8

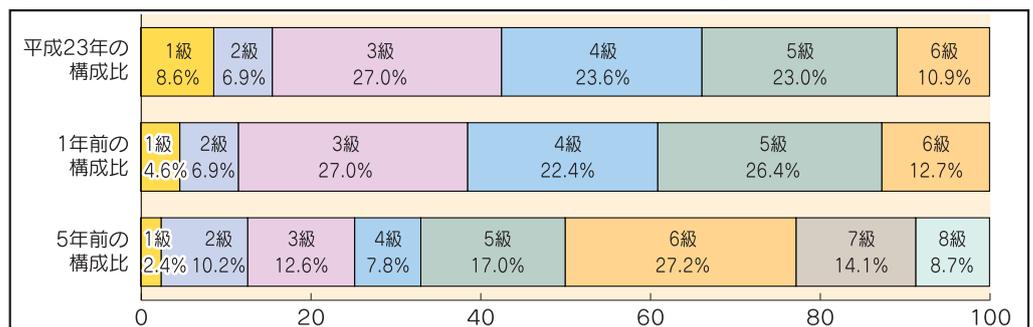
区分	部門	特別行政		公営企業等会計				総合計
		教育	小計	水道	下水道	その他	小計	
職員数	平成23年度	44	44	12	7	14	33	301
	平成22年度	46	46	12	7	14	33	295
	対前年度増減数	△2	△2					6

(注) 職員数は、一般職に属する職員数です (教育長を含み、自治法派遣職員を除きます)。

⑩ 年齢別職員構成の状況 (平成23年4月1日現在)



⑪ 一般行政職の級別職員数などの状況 (平成23年4月1日現在)



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更しています (旧給料表の1級および2級ならびに4級および5級をそれぞれ統合)。



柴田町長 滝口 茂

東日本大震災に
翻弄された平成23
年も、残すところあ
とわずかになりま
した。大震災後の復
旧工事も加速度を

増し、悲惨さの象徴だったがれきや
流された車や船も徐々に片付いてき
ました。今は何事もなかったよ
うに、荒涼とした土地が広がっ
ています。

現在、沿岸部の自治体は、創
造的な復興を目指し、新しいプ
ロジェクトを盛り込んだ復興計
画の策定に取り組んでいます。

また、国においては、被災地
を支援するための「復興特区」
の創設やその財源となる「復興
交付金」などを予算化しました。
本格的な復興まちづくりに向け
た体制が整ったところです。

しかし、町が復興しても、家族を
失い、家や財産を失い、仕事を失っ
て、心に痛みを受けた被災者の方々
の「心の復興」は容易なことではあ
りません。あの日のさまざまな体験
を見聞するにつけ、ただ「がんばれ
東北」「がんばろう宮城」と叫んでい
るだけでいいのだろうか。いみじく

創造的な復興を目指して

も、沿岸部の首長がもらした「何か
ら手をつけたらよいのか分からない」
といった状況にあるのが、被災地の
実態なのです。いまだ「心の復興」
への具体的なシナリオが示せない現
実を前に、政治家の一人として、じ
くじたる思いがあります。被災者の
方々に、どうすれば悲しみを乗り越
え、再び立ち上がり、生きる希
望を見出し出してもらえようとい
なるのか、確かな処方箋を示さ
なければなりません。

まずは、中高層の建築ビルに
よる人工的な避難拠点の整備や
高台移転などを行い、早く安全
な生活基盤を確保することです。

次に、なりわいを再生するため
に、農地の除塩や港や魚市場の
再開を通じて、第一次産業の復
活を急ぐことです。そして、今
回の大震災で学んだ、人と人と
の絆や相互扶助による新たなコミュ
ニティづくりをベースにしたまちづ
くりを進めることで、創造的な復興
が可能になるのではないかと思いま
す。

三元の地域で、心穏やかに暮りたい
という被災者のささやかな願いを早
く叶えてあげたいものです。

みやぎ県南中核病院からのお知らせ

問 みやぎ県南中核病院 ☎51-5500 <http://www.southmiyagi-mc.jp/>

安全で安心な 医療への取り組み



安全で安心な医療は、医療者が努力するのはもちろんですが、患者さんと医療者が一緒になって取り組むことが重要であると言われております。当院の医療安全管理室では、患者さんに以下のことをお勧めしています。

1. 治療に関心を持ち、疑問や心配は声に出して言いましょう。
2. 自分が服用している薬について知りましょう。
3. お薬手帳をお持ちの方は、診察・入院時に持参しましょう。
4. 検査や注射、薬を受け取る時などは、自分の名前を伝えましょう。
5. 入院の際は、履き慣れた滑りにくい、かかとを覆う靴で過ごしましょう。

広 告



柴田町図書館

からのお知らせ

みんなの図書館

12月の特集

クリスマス・お正月に役立つ本

12月の特集は、クリスマスやお正月に役立つ本を特集します。行事の由来やキャンドル作り、クリスマスリース、ケーキ、年賀状、おせち料理などの参考になる本を取りそろえます。どうぞご利用ください。

12月のお話し会 毎月第1・3土曜日開催

日時／12月3日(土)、17日(土) 11:00～12:00

※事前の申し込みは必要ありません。

場所／柴田町図書館（ふるさと文化伝承館1階奥の「和室」）

協力／絵本読み聞かせの会「おむすびころりん」

◆開館時間／平日 10:00～19:00 土・日曜日、祝日 10:00～17:00

◆12月の休館日／5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)

◆年末年始の休館日／12月28日(水)～1月4日(水)

問 柴田町図書館（しばたの郷土館・ふるさと文化伝承館内） ☎ 86-3820 FAX86-3821 Eメール :library@town.shibata.miyagi.jp



まちづくりに参加する制度 パート1

柴田町住民自治によるまちづくり基本条例では、情報の共有、参加および協働の3つが柱として位置付けられています。その内、まちづくりへの参加を推進するものとして次の3つを条例で定めています。

- ①まちづくり推進センターの設置
- ②まちづくり提案制度
- ③常設型の住民投票制度

今回は、この3つの中から「まちづくり推進センターの取り組み」をご紹介します。

まちづくり推進センターは、町民への情報提供と協働のまちづくりの輪を広げるための各種事業を推進することを目的として設置されました。東日本大震災の影響により2カ月遅れの6月2日に本格活動を再開し、①交流と連携の促進（しばたまち交流ひろば「ゆるぶら」）、②まちづくり提案制度の実施、③研修会の開催などの人材育成の事業に現在取り組んでいます。



体験会の様子

このセンターでは、協働のまちづくりをより一層広げていくため、皆さんからのご意見をお待ちしております。

問 まちづくり政策課 ☎ 54-2111

広 告

広 告

まちかど NEWS



プラスチック板を使った
プラトンボづくりに挑戦

笑顔あふれる子どもフェスティバル

11月13日に農村環境改善センターを会場に、子どもフェスティバルが催されました。会場では、町内6地区の子ども会による工作や魚釣りなどの「遊びの出店コーナー」や「マジックショー」のステージが行われました。800人の親子連れでいっぱいとなった会場は、子どもたちの笑顔に包まれました。この催しは、子どもたちに元気を出してもらおうと企画され、町で初めて開催されたものです。



いっばいの魚を
ゲットしました

船岡の城下町を散策

NEWS

10月30日、東船岡駅を起点に阿武急沿線フリーウォーキングが行われました。この催しは、沿線の市町で毎年行われているもので、当日は、町内外から大勢の方が参加しました。白石川堤の染井吉野の巨木や船岡城址公園に完成した展望デッキからの眺望を楽しみました。また、休憩ポイントでは、地場産リングやおにぎりなどを無料配布するおもてなしが行われ、参加者からは笑みがこぼれました。



東船岡駅から
マップを片手にスタート



ジオラマを使って
分かりやすく解説

戦跡から平和の尊さ学ぶ

10月29日、町内の戦跡を訪ね、平和の尊さを改めて学ぶ戦跡めぐりが行われ、多くの方が参加しました。柴田町史の編さんに携わった日下龍生さんの案内で、兵器に使用する爆薬や火薬を製造していた旧第一海軍火薬廠跡や亡き戦友の栄光をしのび建てられた平和塔などを巡り、平和の大切さを感じていました。このイベントは、12月に開催される、平和の祭典のプレ企画として行われたものです。

広告

広告

いっまでもお元気で！

11月8日に北船岡の小白のぶこさんが満100歳を迎えられ、ご家族らが長寿をお祝いしました。助産婦として活躍され、健康には自信があるという小白さん。当日はお友達による踊りの披露に加え、たくさんのプレゼントや花束をもらい喜んでいました。食べるのが長寿の秘訣で、特にスパゲッティはほかの人の分も食べてしまいたいほど好きだとか。これからもお元気に暮らしてください。



滝口町長からお祝いの言葉をもらう小白さん



きれいな花を咲かせてと心を込めて植栽しました

住民と協働で花の観光地づくり

紅葉に彩られた船岡城址公園で11月5日、花咲山植栽会が行われました。町民や各種団体、地元企業など約200人が参加し、春に咲くチューリップやスイセン・ムスカリの球根約3千個と花木約100本、パンジーなどの花約300苗を植栽しました。この植栽会は、来春の観光シーズンに向けて行われたもので、春には色とりどりのきれいな花を咲かせて、来訪者を楽しませてくれそうです。

秋の味覚 新そばで舌鼓

しばた新そばまつりが11月12日、柴田町太陽の村で開催されました。柴田高原そば粉を100%使用した新そばを賞味してもらおうと開催されたもので、今年で12回目を迎えます。そば生産組合長の高橋さんは、「今年の新そばは、台風の影響で倒れ例年より風味が足らない。」と話しました。それでも、ゆで上がったそばは、香り豊かで腰がありのど越しも良く、訪れた方々の舌を魅了しました。



家族連れで新そばの味を堪能



40人の参加者で約8・5kmのコースを歩きました

紅葉の里山をハイキング

入間田地区で、里山ハイキングコースを歩く「晩秋の野山を歩こう」が11月11日に行われました。この日は、農村環境改善センターから柴田町で一番高い愛宕山(標高291m)まで歩くコースで、途中、神楽の伝承で由緒ある八雲神社前をとおる、国指定天然記念物のイチヨウに圧倒され、収穫が始まった雨乞のユズの香りに癒されながら歩きました。健脚の方が多く予定よりも早く回りきりました。

広 告

「柴田町暮らしの便利帳」への協賛をお願いいたします

町では、各種申請や手続き、届け出などの行政情報をはじめ、町の歴史や文化、観光などの地域情報、医療機関の紹介などを1冊にまとめ、皆さんの暮らしに役立つ便利な情報誌として「暮らしの便利帳」を製作し全戸配布します。

暮らしの便利帳に「協賛広告」を掲載していただける事業者を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

「柴田町暮らしの便利帳」の概要

- 発行主体：柴田町、株式会社サイネックス
- 発行予定：平成24年3月
- 発行部数：17,000部（全戸配布、転入者の方々へも窓口で配布します）
- 仕様内容：A4サイズ、フルカラー 約110ページ（予定）



☎(株)サイネックス ☎022-243-6673 まちづくり政策課 ☎54-2111

こうほう 文芸

短歌

夕暮れてメタセコイヤにクリスマス
星ひとつつやがて輝き
あたらしき穂のつやつやとはなすすき
しらがねのさざ波立つ川面に
治療する医師の穏やかな話し方
胸にしみいて痛み和らぐ

船岡 柄目けい子
船岡 沢田 順子
葦神 葛

川柳

風評に耐えて地産の秋祭り
目覚むれば日々増す地力胸を打つ
紅葉の空気もおいしい里の山
点滴に明日の天命見つめられ
天命の日まで一人でゆつくりと
痛む足右も左も同ト歳
里帰り老母からそつと別封筒
地の利をば捨てて流転の北移住
熟れ柿に啄む雀の賑やかさ
一輪の花も香りて秋の風
カギ針で編んでいる時が至福どき
大そうじ終ったつもりで年を越す
国技でも外国人力士が活躍し

西船岡 大沼 一路
船岡 幕田 昇
船岡 佐藤 益子
船岡 平間 要一
船岡 小野寺一彩
船岡 島貫とし子
船岡 早坂 洋子
船岡 長尾 純子
船岡 伊藤タイ子
船岡 安藤 節子
船岡 阿部美代子
船岡 水戸 貞夫
西船岡 渡辺 晴奈

俳句

人はみなドンキホーテよ年惜しむ
ものも云ふべし酒も買うべし十二月
その昔戦争に入るレノンの忌
極月や受話器に響く里の声
阿武隈の闇甘くなる吊し柿
拓本の三の丸歌碑星流る
白鳥来城址にのこるしるべ石
余生なり冬木支へる七つ星
虎落笛深呼吸する磨崖仏
白鳥の純白を我が炎とす
白石の瀬の響る寒き時雨哉
ミカンむき炬燵で孫と笠地蔵
柚子ふたつ夕日に照りて黄濃くなり

本船岡 森田 眞六
船岡 大泉かずえ
船岡 大槻 信吉
船岡 永井 堯
船岡 松崎 利保
船岡 相馬カツオ
船岡 鈴木 清子
船岡 鈴木 幸子
船岡 鈴木 三山
船岡 鎌形 清司
船岡 江戸 裕子
船岡 上遠野三恵
船岡 小野 憲彦

広 告

広 告



夢空間 2011



汪洋 (ペンネーム)



花ちゃん (ペンネーム)



女王の番犬 (ペンネーム)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所・氏名・電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



「ろうにのったよ」

東船岡小学校 1年

渡邊ひなさん



「どうぶつえんへ行こう」

東船岡小学校 1年

加藤大夢さん



ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間 2012)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで12月14日(水)までご応募ください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

第2次柴田町環境基本計画(素案)に係る パブリック・コメントを募集しています

柴田町では、健全で恵み豊かな環境の保全と安らぎのある環境の創造に関する取り組みを計画的に実施することを目的として、「第2次柴田町環境基本計画」の策定を進めています。

「柴田町ふるさと環境町民会議」が中心となり作成した素案について、内容をお知らせするとともに、広く町民の皆さんからご意見をいただくため、パブリック・コメントを募集します。

■ 閲覧期間および意見募集期間 / 12月22日(木)まで

■ 閲覧場所および閲覧時間 / 町ホームページに掲載するほか、次の場所で資料の閲覧ができます。

- (1) 柴田町役場、槻木事務所 / 午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)
- (2) 槻木生涯学習センター、船岡生涯学習センター、船迫生涯学習センター、しばたの郷土館 / 午前9時～午後5時(日・月曜日、祝日を除く)
- (3) まちづくり推進センター / 午前10時～午後6時(月曜日を除く)

■ 意見の提出方法 / (あて先) 柴田町町民環境課

- (1) 郵送 〒989-1692 柴田町船岡中央2丁目3番45号
- (2) ファクシミリ 0224-55-4172
- (3) 電子メール environment@town.shibata.miyagi.jp
- (4) 直接持参 町民環境課または槻木事務所

※電話や口頭による受け付けは行いません。

■ 意見の記入要領 / 意見提出様式は、各閲覧場所に

備え付けるほか、町ホームページからダウンロードできます。なお、氏名、住所、電話番号または電子メールアドレス、意見の該当箇所を必ず明記の上、提出してください。



問 町民環境課 ☎ 55-2113

人口と
世帯数



38,500 人
(前月比 27 人減)



19,123 人
(前月比 22 人減)



19,377 人
(前月比 5 人減)



14,665 世帯 (平成 23 年 11 月 1 日現在)
(前月比 1 世帯減)